

令和 5 年度事業計画及び収支予算

令和 5 年 3 月

一般財団法人 研究学園都市コミュニケーブルサービス

令和5年度 事業計画

A C C Sは、つくば市域において、ニュース、行政情報、災害情報をはじめとして地域での暮らしに役立つ種々の情報をタイムリーに提供するとともに、加入者の皆様のニーズに応じて多様な放送・通信サービスを提供することにより、地域の情報化の進展とその発展に貢献していく。

I 公益目的支出実施事業

A C C Sの公益目的支出計画に基づく当該事業を引き続き着実に実施する。

特に、センター施設及び幹線ケーブル等の保守点検、管理を適切に実施し、安定運用に努める。

1 地上波テレビジョン放送等の再放送

筑波研究学園都市有線テレビジョン放送加入契約約款に定める加入者に対して、引き続きNHK総合、NHKEテレ、日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、テレビ東京、フジテレビ、東京MX TV、千葉テレビ、テレビ埼玉及び栃木テレビのテレビジョン放送等の再放送を行う。

2 放送・通信施設の適確な維持管理の推進等

放送・通信施設の故障、障害によるサービスの中断、停止及び品質低下が生じないように、日常の施設監視、計画的な保守・点検を継続し、適確な維持管理を行う。

また、自然災害等の発生時にも事業が継続できるように、放送・通信施設の各般における冗長性の確保や予備機の配備等について検討し、必要性の高いものから順次実施する。

II 放送事業

デジタル放送サービスの一層の充実を推進するとともに、より地域に密着した番組作りを行うなど自主制作番組の充実・向上を図る。

1 多チャンネル放送の充実

(1) 番組の充実

お客様への訴求効果の高い、より魅力的な多チャンネル放送を目指し、お客様の視聴動向等を踏まえて番組の入れ替えについて検討・実施する。

(2) 新しい視聴制御方式（ACAS）対応に向けた環境整備

令和12年頃に見込まれている、現行の視聴制御方式（C-CAS）終了に備え、周波数利用効率に優れ4K放送も可能な新しい視聴制御方式（ACAS）のセンター設備の準備を行うとともに、ACASにも対応したセットトップボックスへの移行を図る。

2 自主放送の充実

(1) 自主制作番組の充実・向上

つくば市域において、ACCSの自主制作番組の役割が大きくなっている中、地域の歴史・伝統・文化・環境に関わるコンテンツを掘り起こし、映像ニュースの強化等を図るとともに、市民参加型の地域に密着した番組の追加などにより、地域力のアップを目指した番組を制作する。

また、「高校野球茨城大会」、「まつりつくば」及び新たに始めた「県立高校入試解答速報」などの生中継について、スタジオの活用などによる新たな生放送への取組みを検討する。

(2) 迅速な災害情報等の提供

つくば市と締結した防災協定に基づき、L字放送システムにより市民の生命・財産を守るための緊急情報を迅速に提供するほか、平常時には、気象・道路・鉄道情報などの暮らしに役立つ情報についても提供する。

(3) SNS、動画サイトの活用

自主制作番組を広くPRするため、SNS（Twitter）による情報発信のほか、サービスエリアを問わずに番組（一部）が視聴できるよう、動画サイト「YouTube」への投稿を行う。

Ⅲ 通信事業

通信品質の向上、システムの安定運用に努めるほか、トリプルプレイサービスの提供、インターネットサービスの高速化等の動向を踏まえ、通信サービスの充実・向上を図る。

1 品質の向上、安定運用などによる信頼度の確保、向上

(1) インターネット局内回線の増強

高速サービス利用者の増加に伴うトラフィック量の増大に適切に対応するため、引き続き上位回線及び局内回線の増強を図る。

(2) FTTHユーザーのトラフィック分散

インターネットサービスの通信速度を定期的に測定し、混雑時の通信速度の低下度合いが大きい回線のFTTHユーザーのトラフィック分散を検討する。

(3) F T T Hセンター機器の能力向上

F T T H通信サービス（ひかりサービス）を提供するセンター機器については、今後の高速化に柔軟に対応できる最高速度10Gbpsの10GE-PON方式の機器を引き続き導入する。

2 サービスの充実、普及促進

ひかりコラボレーション事業との連携を含め、高速のひかりサービスとケーブルプラス電話サービスについて、引き続き加入者増を図る。また、携帯電話の電波を利用した固定電話サービスであるホーム電話について、集合住宅において新たなケーブル敷設工事等が困難な際に提供を行う。

集合住宅の管理会社及び建設会社等への営業を強化し、T X沿線等新規開発エリアでの早期シェア獲得を目指す。

ネットワークのI P v 6対応化や更なる高速化（1Gbps超）について、需要動向及びコストを考慮しつつ、検討・準備を行う。

つくば市との「地域広帯域移動無線アクセス（地域BWA）に関する協定」に基づき、システムを整備・運用し、公共の福祉の増進に寄与する。

IV 公共サービスの一層の充実・地域情報化への寄与

1 開発・再開発地区への対応とサービスエリアの拡大等

T X沿線の宅地開発並びに学園地区及び周辺部の開発・再開発における住宅建設等の進捗に合わせて、適切に放送・通信施設の整備を進めるとともに、未カバーエリアについても、引き続き事業化の検討を行う。

なお、サービスエリアの拡大に当たっては、需要動向、コストの低減等について検討し事業性を精査した上で、地域の協力を得て進めることとする。

2 F T T H化の推進

(1) F T T H伝送路等の施設整備

サービスエリア内の全ての幹線のF T T H化を完了することとし、「香取台、諏訪、みどりの、小白碓」（対象戸数は計約5,700戸）においてF T T H伝送路等の施設整備を実施する。

(2) F T T Hサービスへの移行の推進

これまでF T T H施設を整備してきた地域において、H F C加入者のF T T Hサービスへの移行を一層推進する。

(3) 集合住宅のF T T H化の推進

これまで戸建住宅を対象にしてF T T H化を推進してきたが、集合住宅についても積極的に推進するべく、F T T H化に対応できる技術・方式について、コストを含めた検討を行う。

3 A C C Sホームページ及びポータルサイトの充実

A C C Sホームページについては、閲覧形態がパソコンからスマートフォンへ移ってきていることから変更を検討する。

また、A C C Sポータルサイト「つくばもん」については、サイト開設から20年近くが経過したことから、現在のニーズやトレンドに沿った情報発信サイトに改修する。

4 サポートサービスの継続

加入者向けの訪問サポートとして、通信サービスではインターネット開通サポートや宅内L A Nの構築等、放送サービスでは機器取扱説明や簡易な技術対応等、対応範囲を拡大しながら提供してきており、加入者の利用満足度向上のため、引き続き実施する。

収支予算書（損益ベース）

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

（単位：円）

科 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
特定資産運用益			
特定資産受取利息	40,000	40,000	0
事業収益	1,556,498,000	1,635,497,000	△ 78,999,000
自主放送事業収益	514,302,000	537,120,000	△ 22,818,000
再送信放送事業収益	344,789,000	363,800,000	△ 19,011,000
データ伝送事業収益	408,000,000	428,763,000	△ 20,763,000
電話提携事業収益	238,000,000	245,697,000	△ 7,697,000
光コラボ事業収益	51,407,000	60,117,000	△ 8,710,000
雑収益			
雑収益	6,000,000	6,000,000	0
経常収益計	1,562,539,000	1,641,538,000	△ 78,999,000
(2) 経常費用			
事業費	1,704,409,000	1,645,705,000	58,704,000
人件費	245,370,000	234,223,000	11,147,000
事務費	185,762,000	182,989,000	2,773,000
減価償却費	220,463,000	215,657,000	4,806,000
施設維持管理費	189,214,000	163,036,000	26,178,000
再送信放送事業費	112,900,000	119,600,000	△ 6,700,000
自主放送事業運営費	354,097,000	346,520,000	7,577,000
通信事業運営費	395,971,000	378,048,000	17,923,000
ポータルサイト維持費	432,000	5,432,000	△ 5,000,000
未収金償却費	200,000	200,000	0
管理費	115,352,000	106,071,000	9,281,000
人件費	71,430,000	66,035,000	5,395,000
事務費	35,848,000	32,076,000	3,772,000
減価償却費	5,074,000	4,960,000	114,000
特別修繕引当金繰入額	3,000,000	3,000,000	0
経常費用計	1,819,761,000	1,751,776,000	67,985,000
当期経常増減額	△ 257,222,000	△ 110,238,000	△ 146,984,000

(単位：円)

科 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 257,222,000	△ 110,238,000	△ 146,984,000
一般正味財産期首残高	1,344,774,000	1,455,012,000	△ 110,238,000
一般正味財産期末残高	1,087,552,000	1,344,774,000	△ 257,222,000
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	680,000,000	680,000,000	0
指定正味財産期末残高	680,000,000	680,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,767,552,000	2,024,774,000	△ 257,222,000